

開講年次・時期	1年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK210	科目名	子どもの保健	担当者名	小松 奈保子
授業の概要	乳幼児期の子育てを取り巻く状況を知り、子どもの発育・発達における課題を理解する。また、生命の誕生・子どもの発育・発達・生理機能について学び、医学的知識を獲得する。さらに、子どもの疾病とその予防について理解し、実践する力を身につける。				
科目の到達目標	①子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。 ②子どもの身体的な発育・発達と保健について理解する。 ③子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解する。 ④子どもの疾病とその予防法及び他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解する。				
DPの観点	④協調性(20) ⑥専門知識・技能(50) ⑨主体性(30)				
授業時間外学修(予習・復習)	今日的な健康に関する課題(地域で流行している感染症等の発生状況や子どもの健康に関するトピックス)を報道記事やインターネットから把握し、授業内容を予習・復習する。				
フィードバックの方法	授業内課題やレポートは点検して返却する。				
単位認定の要件	授業内活動・授業内提出・期末試験の判定を基に評価する。また、毎回の授業への意欲的な参加や積極的かつ真面目な取り組みも重視する。				
評価の方法・割合(%)	期末試験50% レポート20% 授業内活動・提出30%				
履修上の注意事項	毎回テキスト、配布プリントを持参してください。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			子どもの健康と保健の意義① 生命保持と健康の概念	⑥⑨	課題
2			子どもの健康と保健の意義② 健康指標と保健の課題	⑥⑨	課題
3			子どもの健康と保健の意義③ 地域における保健活動と子どもの虐待防止	⑥⑨	課題
4			子どもの発育・発達と保健① 新生児期・乳児期の発育・発達	⑥⑨	課題
5			子どもの発育・発達と保健② 幼児期・学童期の発育・発達	⑥⑨	課題
6			子どもの生理機能・疾病の予防及び適切な対応① 脳神経系	④⑥⑨	課題
7			子どもの発育・発達と保健③ 生命の誕生	④⑥⑨	レポート
8			子どもの生理機能・疾病の予防及び適切な対応② 循環器系・呼吸器系	④⑥⑨	課題
9			子どもの生理機能・疾病の予防及び適切な対応③ 消化器系・泌尿器系	④⑥⑨	課題
10			子どもの生理機能・疾病の予防及び適切な対応④ 内分泌系・睡眠・体温調節	④⑥⑨	課題
11			子どもの生理機能・疾病の予防及び適切な対応⑤ 感覚器・精神機能	④⑥⑨	課題
12			子どもの生理機能・疾病の予防及び適切な対応⑥ 免疫機能・感染症・予防接種	④⑥⑨	課題
13			子どもの生理機能・疾病の予防及び適切な対応⑦ アレルギー	④⑥⑨	課題
14			子どもの心身の健康状態とその把握① 年間保健計画と健診	④⑥⑨	課題
15			子どもの心身の健康状態とその把握② 心身の不調と早期発見・対応	④⑥⑨	ミニレポート
期末試験			試験		

使用テキスト	授業で現場で役に立つ！子どもの保健 テキスト（小林美由紀 編著・診断と治療社）
参考文献 参考URL	『保育所保育指針(厚生労働省)』『保育所における感染症対策ガイドライン(2018年度版・厚生労働省)』
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--